

授業科目 社会福祉援助技術総論Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会（3年）・作業（2年）
村上信		開講時期	前期	必修・選択	必修（社会）・選択（作業）
		単位数	2	時間数	30
<概要> 社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的・社会的福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。 総論Ⅰは、専門的・社会的福祉援助活動を担う専門職（ソーシャルワーカー）と社会福祉援助技術の確立過程、その意義、ソーシャルワークの体系、専門分化と総合化の現状と課題について学習する。					
<学習目標> 1. 社会福祉の体系のなかでソーシャルワークが果たす役割や機能、社会福祉サービスとソーシャルワークの相互の関連を学び、その位置づけを理解する。 2. ソーシャルワークの発展過程を学び、ソーシャルワーカーのアイデンティティについて理解する。 3. ソーシャルワークの体系、基本原理・原則を理解する。 4. ソーシャルワーカーに求められる専門性と倫理、果たすべき機能について理解する。					
回数	授業計画又は学習の主題				SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	位置づけ（1）	ソーシャルワークの構成（政策・制度の体系と実践・技術の体系）を学ぶ			講義
2	位置づけ（2）	ソーシャルワークの概念、内容、構造を学ぶ			
3	体系（1）	ソーシャルワークの最も基礎的方法である直接援助技術の体系を学ぶ			
4	体系（2）	間接援助技術の体系を学ぶ			
5	体系（3）	その他の関連する援助技術を学ぶ			
6	発展過程（1）	欧米と我が国におけるソーシャルワークの形成過程を学ぶ			
7	発展過程（2）	ソーシャルワークの多様化と統合化など、発展過程と今後の課題を学ぶ			
8	基本原理・原則	ソーシャルワークを展開する際に重要とされる基本的原理・原則を学ぶ			
9	共通基盤	多様な現場で展開されるソーシャルワーク実践の共通基盤を理解する			
10	専門性	ソーシャルワーカーと資格、専門職と専門性の構造について学ぶ			
11	倫理	ソーシャルワーカーの倫理綱領と援助技術、専門職の倫理を理解する			
12	機能と役割（1）	ソーシャルワーク実践で専門職が果たす機能と役割を理解する			
13	機能と役割（2）	事例を通してソーシャルワーカーが果たす機能と役割を理解する			
14	まとめ	全体を通してのまとめをする			
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
		『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
参考書		社会福祉援助技術論というタイトルで出版されている書物、たとえばミネルヴァ書房や有斐閣、建帛社、全社協などの出版物			
その他の資料		必要に応じてプリントを配布する			
【評価方法】 定期試験			【履修上の留意点】		